



|              |                                                                                     |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| Title        | 目で見るWHO 第76号 表紙・目次等                                                                 |
| Author(s)    | 巽, 昭夫                                                                               |
| Citation     | 目で見るWHO. 2021, 76, p. 1-1                                                           |
| Version Type | VoR                                                                                 |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/86479">https://hdl.handle.net/11094/86479</a> |
| rights       |                                                                                     |
| Note         |                                                                                     |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 目で見る WHO

2021 春号   
No.76



公益社団法人  
日本WHO協会

# CONTENTS

|        |                              |        |
|--------|------------------------------|--------|
| P1     | ごあいさつ                        | 巽 昭夫   |
| P2-5   | 巻頭特集                         |        |
|        | 気候変動と健康                      | 橋爪 真弘  |
|        | セミナー・イベント                    |        |
| P6-9   | 1.グローバルヘルス合同大会               |        |
|        | 山本 貴子, 柳澤 沙也子, 中村 安秀         |        |
| P10-13 | 2.ラオスにおける小児外科卒後研修プログラムの確立    |        |
|        | 窪田 昭男, 勝井 由美                 |        |
| P14-16 | 3.グローバルヘルス合同大会 ランチョンセミナー報告   | 岸 智明   |
| P17    | インターンシップ支援助成のご案内             |        |
|        | WHO協力センター報告                  |        |
| P18-19 | 1.環境省 国立水俣病総合研究センター          |        |
|        | 山元 恵, 坂本 峰至                  |        |
| P20-21 | 2.産業医科大学 産業生態科学研究所           | 森本 泰夫  |
|        | NGO・団体紹介                     |        |
| P22-23 | 公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン      | 高井 明子  |
| P24-25 | 日本WHO協会 大阪府看護協会 共同企画         |        |
|        | 看護師・助産師・保健師を応援しよう！ Part3     |        |
| P26-27 | 国際保健のお仕事日記                   |        |
|        | コロナ禍の最中のWHO西太平洋地域事務局着任       | 芝田 おぐさ |
| P28-33 | WHOニュース 2020年11月／12月／2021年1月 |        |
| P34-35 | 関西グローバルヘルスの集い 冬の特別セミナー       | 小笠原 理恵 |
| P36-37 | 日本WHO協会企画                    |        |
|        | 医療従事者応援プロジェクト 只今進行中Ⅱ         | 巽 昭夫   |
| P38-39 | 日本WHO協会沿革／WHO憲章              |        |
| P40    | WHOの地域事務局と管轄エリア              |        |
| P42    | 編集委員のページ                     | 白野 倫徳  |

## ごあいさつ



日本WHO協会 業務執行理事  
生産技術振興協会 執行理事  
**異 昭夫**

### 地球的に考え、地域的に行動する Think Globally, Act Locally.

#### 地球規模で考えて、地域で行動しよう

これは持続可能な開発のための教育（ESD：Education for Sustainable Development）の言葉です。当協会はこれまで国際的視野で健康保健に関する様々な情報を発信して参りました。これに併せて、足元の大阪市民をはじめ地域の市民の方々にもユニバーサルヘルスカバレッジの重要性を直接訴えかけていくことも大切だと考えています。医療従事者を励ます事業などは、当協会が地域の人々により広く呼び掛けることにより、存在意義が認知され、より多くの理解者・連帯者をえることに繋がることを願っています。健康福祉の増進を実現するために、私達一人ひとりが現代社会のユニバーサルヘルスカバレッジを自らの問題として考え、身近な暮らしを結びつけて、よりよい社会づくりに参加する機運を高め、人財を育てる教育や学習活動が重要であるとして、当協会のKGH（関西グローバルヘルスの集い）という勉強会が関西のリーダーとなって取り組み始めています。

### グローバルな信頼と団結を

これは、ユヴァル・ノア・ハラリ氏の言葉です。新型コロナウイルスによる負の影響がなかなか収まらず、各国が独自の政策・方針を取り始めています。流行している国では地域が封鎖され、入国や移動が制限されています。身近な例では、台湾大学で教鞭をとっておられる日本の先生方は半年以上帰国されていません。

新型コロナウイルスの流行をグローバル化のせいにし、『この種の感染爆発が再び起こるのを防ぐためには、脱グローバル化するしかない』と言う動きが始まっています。しかし、この感染症を封じ込めるには短期の隔離は不可欠だとはいえ、長期の孤立主義政策は経済の崩壊につながるだけで、真の感染症対策にはならないように考えています。

感染症の流行への対抗手段は、分断ではなく連帯が必要です。ユヴァル・ノア・ハラリ氏は彼の著書で「人類はコロナウイルスといかに闘うべきか—今こそグローバルな信頼と団結を」と述べています。当協会はこれからもグローバルな信頼と団結につながるような国際的活動とともに、地域での「目に見える」活動にも強化してゆく所存です。共感頂ける会員のご紹介をお願いいたします。

2021年4月